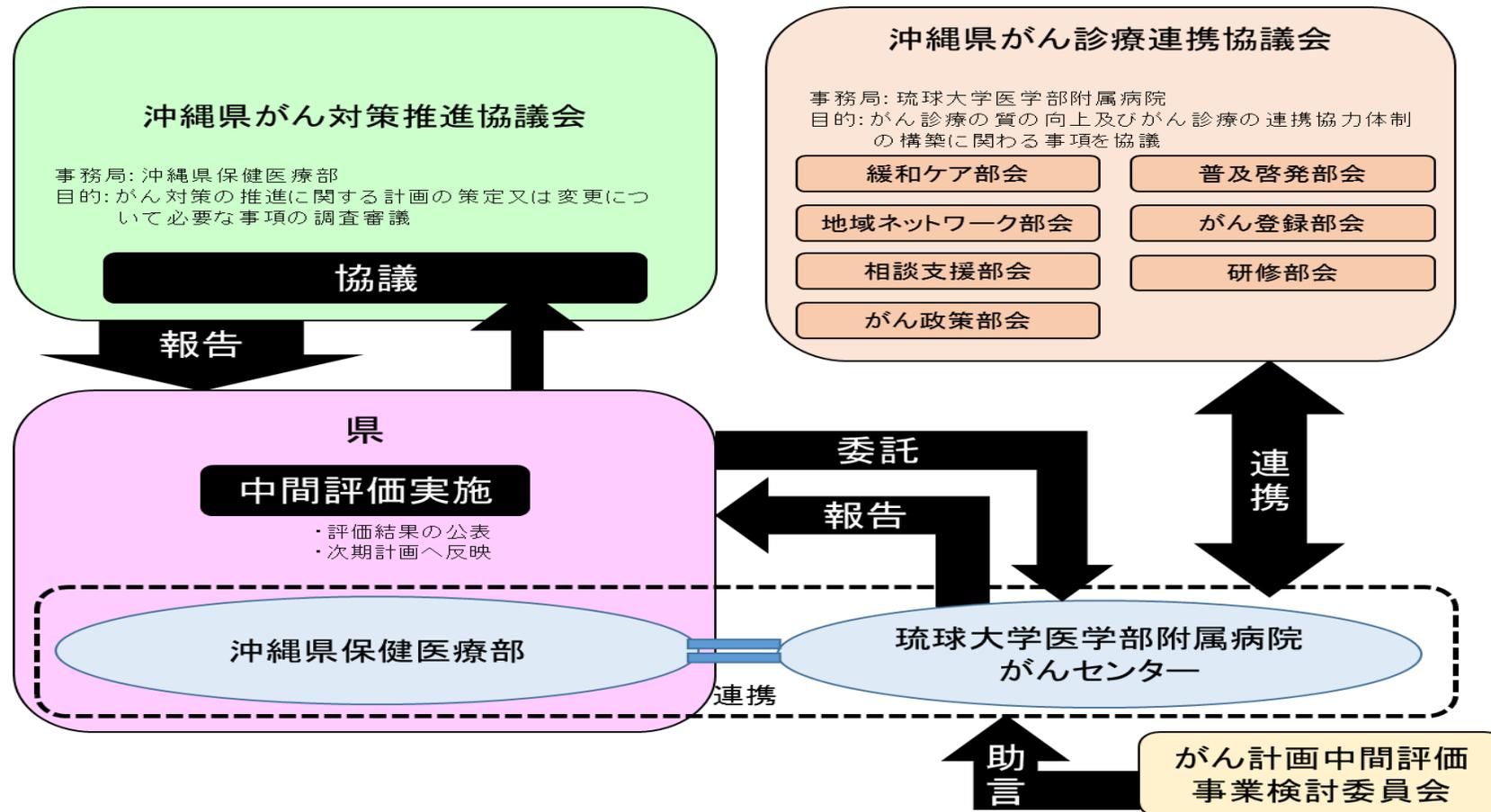
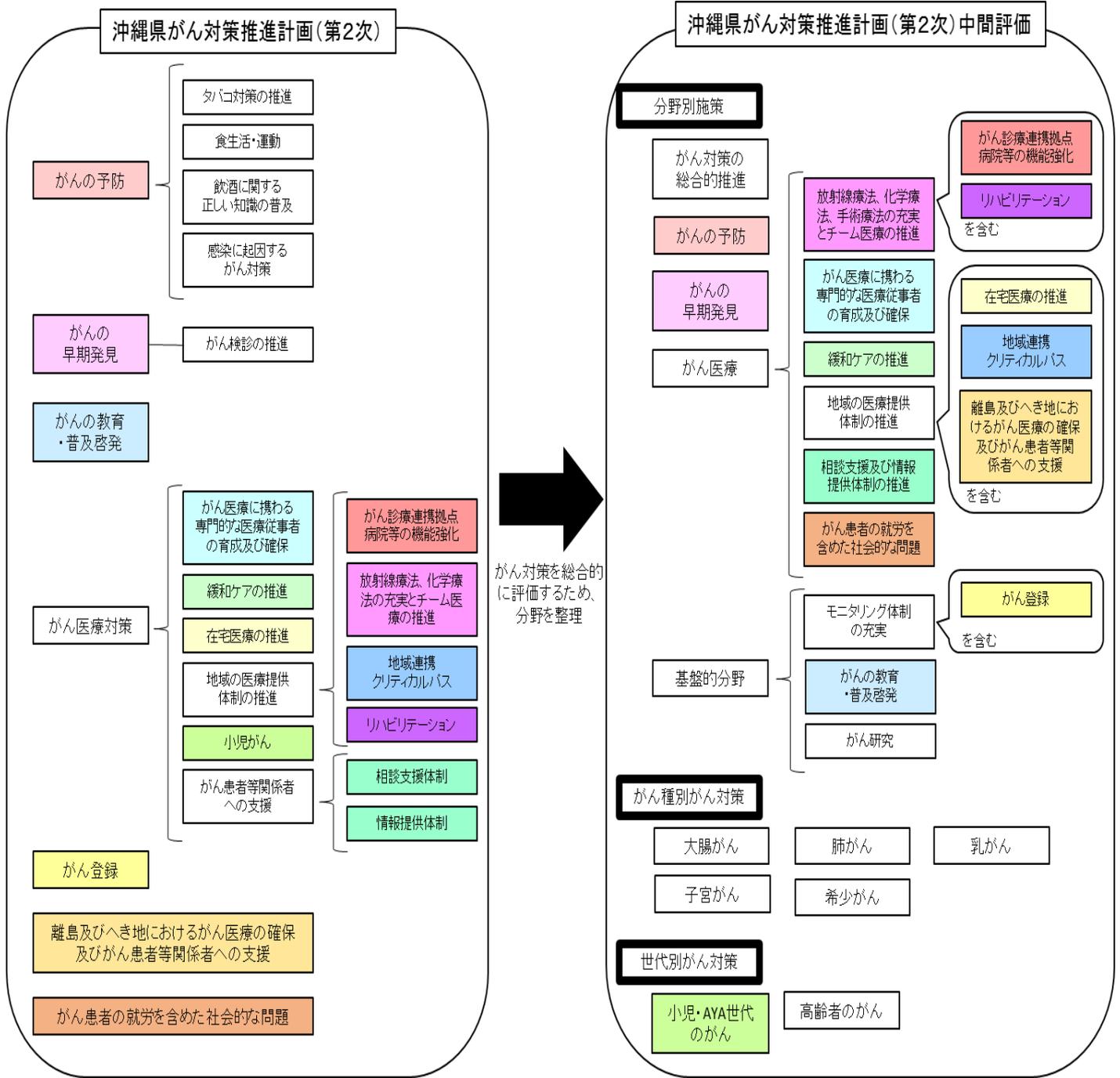


2. 中間評価の体制 (案)



氏名	所属・役職
埴岡 健一	東京大学 公共政策大学院 医療政策教育・研究ユニット 特任教授
天野 慎介	一般社団法人 グループ・ネクサス・ジャパン 理事長
東 尚弘	国立がん研究センター がん対策情報センター がん政策科学研究部長
増田 昌人	琉球大学 医学部 附属病院 がんセンター センター長・診療教授
井岡 亜希子	琉球大学 医学部 附属病院 がんセンター 特命助教

### Ⅲ 分野の考え方（案）



3. (4)がん医療 ③緩和ケアの推進－沖縄県がん対策推進計画(第二次)中間評価(たつき台)

優先順位	番号	C 施策 指標
------	----	------------

番号	B 中間アウトカム 指標
----	-----------------

番号	A 分野アウトカム 指標
----	-----------------

<1>	緩和ケアの中期ビジョンを策定する組織を設置し、ビジョンの策定、評価体制を構築する。 ・中間ビジョンを策定する組織の設置 →未設置
<2>	がん診療(連携拠点)病院 <sup>*2</sup> を中心に、精神的痛みを含む痛みのスクリーニングを実施する。
<3>	がん診療(連携拠点)病院 <sup>*2</sup> の緩和ケアチームが中心となって、他の医療機関との相互連携による患者及び家族の利便性を重視した緩和医療を提供する。  ≪第2次計画では次のとおり記述≫ 県は、住み慣れた家庭、地域等で緩和ケアを受けられることができる体制を推進します。 沖縄在宅緩和ケアマップの作成 → <a href="http://www.okican.jp/index_caremap.jsp">http://www.okican.jp/index_caremap.jsp</a>
1	県は、がん診療(連携拠点)病院 <sup>*2</sup> 、がん診療連携支援病院 <sup>*3</sup> 、その他の医療機関、関係機関・団体等と連携し、緩和ケアに関する知識及び技術を有する医療従事者の育成を図り、がん患者、その家族の状況に応じ、がんと診断されたときからの緩和ケアの提供体制を推進します。 医療用麻薬の消費量(〇内は2010年) →[ ](36.5g/千人)【目標:41.4g/千人】
3	県は、緩和ケアに関する普及啓発を推進します。
8	市町村は、県、医療機関等と連携し、その管轄地域において、地域住民への緩和ケアに関する普及啓発に努めます。

1	緩和ケアの中期(5年)ビジョンが策定され、そのビジョンの実現に向けて組織的に活動している。 中期(5年)ビジョンの進捗結果(アクションプランの作成、実施状況で評価) →アクションプランは未作成
---	--

2	すべてのがん患者とその家族が、がんと診断された時から質の高い緩和ケアを受けている。 ・精神的痛みを含むスクリーニングを、全ての外来患者に対して毎回行っている医療機関の割合  ・身体的痛みスクリーニングを、全ての入院患者に対して連日行っている医療機関の割合  医療者に痛みを相談できる環境にあると回答した患者の割合⇒『問13』  ・「従事している施設の緩和ケアレベルが向上した」と回答した医療者の割合⇒『問18』  ・「従事している施設でACPが実践されている」と回答した医療者の割合⇒『問19』  ・医療者が精神的痛みを含む評価を実施している割合⇒『問20』
---	--

1	すべてのがん患者とその家族が、(基本的または専門的な)緩和ケアを実践できる医療者や、患者の状態に応じた切れ目のない連携体制によって、がんと診断された時から質の高い緩和ケアを受け、身体的・精神的・社会的苦痛が軽減され、療養生活に満足している。  除痛率 →今回は測定困難 ・「治療中および治療後の痛みに、医療スタッフが対応した」と回答した患者の割合⇒『問11』  ・「療養生活に満足している」と回答した患者の割合⇒『問12』
---	---

問11. 治療中および治療後の痛みに、主治医、看護師などの医療スタッフが対応しましたか？

問12. 療養中に身体的・精神的・社会的苦痛が軽減され、今の療養生活に満足していますか？

問13. あなたは、痛みがあったら、すぐに医療スタッフに痛みを相談できますか？

問18. あなたの施設では、緩和ケアのレベルが3年前と比較して向上したと思いますか？

問19. あなたの施設では、がん患者に対する意思決定支援が実践されていますか？

問20. あなたの担当するがん患者で、精神的痛みを含む痛みの評価を何%ぐらいの患者に実施していますか？

\*1 厚生労働省.「新規指定・指定更新推薦書」または「現況報告書」. 2014年10月

\*2 都道府県がん診療連携拠点病院:琉球大学医学部附属病院  
地域がん診療連携拠点病院:那覇市立病院、沖縄県立中部病院  
地域がん診療病院:沖縄県立宮古病院

\*3 がん診療連携支援病院:北部地区医師会病院、沖縄県立八重山病院

